

教員名	井手 拓郎	所属学科	観光政策学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>このゼミナールでは、観光まちづくりに科学的かつ実践的にアプローチし、論理的思考力や問題解決力、ひいては「自ら考えて行動する力」を養います。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>■2年次後期の「基礎演習」</p> <p>(1) 論文・レポートの書き方と基本的なビジネスマナーを習得</p> <p>(2) 春休みの宿題として「ひとり旅による地域調査」→3年次前期に報告</p> <p>■3年次の「演習Ⅰ」前期</p> <p>(1) 2年次春休み中に各自で行った「ひとり旅による地域調査」の報告</p> <p>(2) 専門書／論文の輪読や、グループ研究の計画→夏休みに調査合宿実施</p> <p>■3年次の「演習Ⅰ」後期</p> <p>(1) 夏休みの調査合宿を踏まえてグループ研究論文執筆→学会等で報告</p> <p>(2) 個人研究のテーマを検討して卒業論文研究計画書作成</p> <p>■4年次の「演習Ⅱ」</p> <p>(1) 前期：各自の研究計画に基づいてデータ収集のための調査計画作成 (観察調査・インタビュー調査・質問紙調査など社会調査) →夏休み前もしくは夏休み中に調査実施</p> <p>(2) 後期：各自の研究進捗報告と質疑応答を繰り返し、最終的に卒業論文完成</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>ゼミナールで養うのは論理的思考力や問題解決力、ひいては「自ら考えて行動する力」ですから、観光まちづくり分野に限らず、業界業種を問わずに活用可能です。また、仕事の側面のみならず、自己実現や家庭生活など自身の人生全体にも活用可能です。観光まちづくりについて学習・研究していくことを通して、「自ら考えて行動する力」を高めていきます。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>石黒圭 (2012) 『この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』日本実業出版社 前田勇編著 (2019) 『新現代観光総論-第3版』学文社</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>観光現象をテーマにすると、広く深くさまざまなことを学ぶことにつながります。その可能性の広がりワクワクしませんか？</p>			